

命を守るための泳ぎ方



上・右／児童たちが普段身に着けているランドセルも、いざというとき浮くための道具に



左・上／6月28日に行われた授業「みんな泳げる25m運動」



着衣泳や溺れている人を助ける方法



上／ペットボトルを首のところで持ち浮き身の練習

左／溺れている人のところにペットボトルを投げる練習



着衣(長ズボン)を使ってライフジャケットに



よこた こうめ
5年生 横田小梅さん

僕は転校してきたので、この水泳教室を受けるのは今年で5回目です。6年生最後の教室で、熊本YMCAのリーダーに着衣泳など命を守る技術を教わることができ、とてもうれしかったです。

着衣泳の授業で洋服を着て水の中に入る気持ち悪さや、思ったように泳げないことが分かりました。いざという時にどうやったら浮くことができるかを体験できたのがとても良かったです。



あさ い ゆう じん
6年生 浅井悠臣さん

Interview 自分の命を守り、みんなの命を大切に

日奈久沖遭難事故をきっかけに、もし少しでも泳げる児童が多かったら事故の被害を最小限に防げたかもしれないと思い、津森小と協同で始めた水泳教室に関わって今年で11年目です。

初めは幼児プールで顔をつけたり浮いたりするのが精いっぱいだった子どもたちが、学年を経るにつれて、いきいきと泳げるように成長していく姿を見ると喜びもひとしおです。

この教室を通じて少しでも泳ぎに自信を付け、水の事故から自分の命を守れるよう、また、事故の教訓を次世代へ継承し、みんなの命も大切に行動できるよう、その助けとなればと考えています。



かね せ としたか
熊本YMCA 兼瀬稔宜さん